

夏のスポーツの風物詩といえば「全国高等学校野球選手権大会」通称甲子園！1915年に始まり、今年で100周年を迎えます。さて、敗退したチームが、甲子園の土を持ち帰るのは有名な話ですが、長い歴史の中で、持ち帰ることが許されなかった球児たちがいます。戦後初の沖縄代表として参加した首里高校の話です。当時の沖縄は日本返還前で、アメリカの統治下にありました。1958年に大会史上初めて沖縄の代表校を加えた47校で開催され、首里高校は1回戦で敗退しました。首里高ナインの数人がビニール袋に詰めて甲子園の土を船で持ち帰りましたが、アメリカの法律では甲子園の土は「外国の土」ということで、植物検疫法に抵触し、なんと持ち込み不可能として海に捨てられてしまったのです！このことは当時の新聞で報じられ大反響を呼び、心を痛めた一人の日本航空の客室乗務員が、甲子園の小石を40個近く集めて沖縄に届けました。石は植物検疫法に該当しないからです。首里高校の甲子園出場記念碑には、この甲子園の石が埋め込まれています。さて、夏の焼けた肌には白い歯が似合います！この機会にホワイトニングはいかがですか？

おざわ歯科医院からのお知らせ



ホワイトニングを
おすすめしています。



着色汚れ気になりませんか？

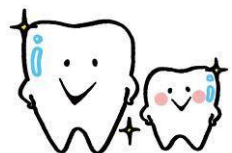
ホワイトニングで白い歯を手に入れる前に着色汚れもキレイにしましょう！



次のページでたばこの悪影響についてお話ししていますが、茶渋やタバコのヤニなどのステインが強く付いている方には、通常のクリーニングだけでは完全に除去できない場合があります。そこで威力を発揮するのがジェット噴流を使った「エアフロー」です。

これは炭酸水素ナトリウム（重曹）やグリシン（アミノ酸の一種）などの粒子をウォータースプレーで吹きつけ、タバコのヤニ、コーヒーなどの汚れを吹き飛ばしていきます。使用後は、歯の表面に汚れの再付着を防ぐためにPMTCで歯の表面をツルツルにしていきます。

歯ブラシでは落とせない頑固な汚れを、歯を傷つけずに短時間で取り除き、歯本来の自然な美しさを取り戻します。



百害あって一利なし！タバコがもたらす悪影響

★タバコは良くない

タバコの煙の中には、約 4,000 種類の化学物質が含まれ、そのうちの約 200 種類が有害物質で、発がん物質が約 70 種類とされています。また、タバコを吸っていない人も一緒にいる人のタバコの煙（副流煙）を吸ってしまう、受動喫煙による健康被害も問題になっています。今までは、タバコは嗜好品であるとみなされていました。しかし、現在では、タバコが止められないのは、心理的依存とニコチン（依存性薬物）に対する身体的依存（ニコチン依存）より成り立つ「ニコチン依存症（薬物依存症の一つ）」として認識されています。

タバコの全身への悪影響は知られていますが、お口への影響はあまり知られていません。今回はどんな影響があるのかをご紹介します。

★タバコが口腔内にもたらす影響は？

1. 歯肉の色素沈着

タバコを吸うことによって口腔粘膜や歯肉でのメラニン産生細胞が刺激され、歯肉が黒ずんできます。本人は見えないからと気にしていなくても、笑った時、ご飯を食べるときなど意外と目立っていることがあります。また、子どもを持つ両親が喫煙者であった場合、子どもの歯肉にメラニン色素の沈着が見られることもあます。

2. 歯の着色

タバコのヤニが歯の表面や歯石に付着して茶色く着色します。一度ついてしまうと自分でのブラッシングでは取ることができないため、歯科医院で落とすことになります。

3. 口臭

タバコを吸う人には特有の口臭があります。タバコに含まれるニコチンやタールが歯ぐきの血管を収縮させ、血行を悪くし、唾液の分泌量も低下させてしまいます。唾液の自浄作用が低下するので、結果として口臭がひどくなります。

4. 歯周病

喫煙者は非喫煙者に比べ、歯周病のリスクが大幅に高くなります。しかも 1 日の喫煙の本数が増えれば増えるほどリスクが増加します。タバコを吸っていると歯周病になりやすくなり、またニコチンによる血管収縮作用により歯周病の症状に気が付かず、重症になる傾向にあります。

5. その他の影響

インプラントは、歯を失っても自分の歯のように噛める治療ですが、基本的に禁煙が前提です。喫煙は、口腔癌（舌癌・口腔底癌・歯肉癌・頬粘膜癌・口唇癌）などのリスクも増加します。

★禁煙しよう

歯周病は歯を失うリスクが高く、成人病の原因となる恐ろしい病気です。喫煙習慣のある方は禁煙をめざしましょう。また、定期的に歯科を受診して歯周病の予防に努めましょう。



おざわ歯科医院

おざわ
歯科

